

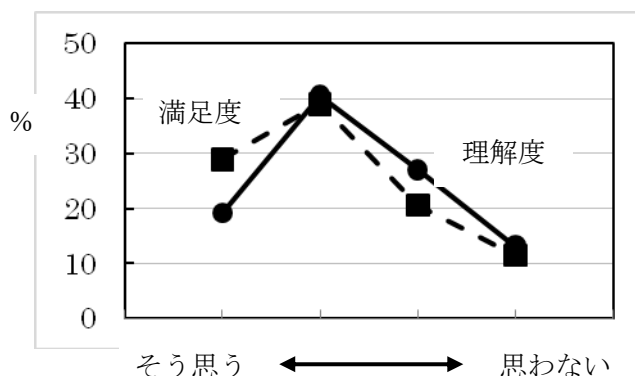
2010 年度生命科学部前期授業アンケートの結果とその内容報告

生命科学部 F D 委員会

2010 年 7 月実施 (6 月 28 日～7 月 12 日、実際は 7 月 31 日まで記入可とした)

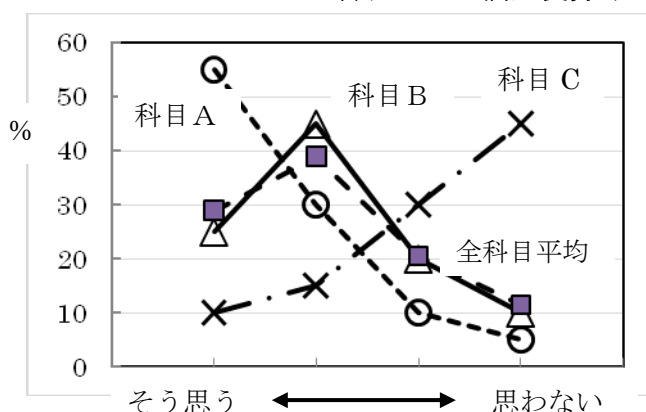
回答率: 1 年生 80% 2 年生 35% 3 年生 30%

§ 1. 1 年生全科目まとめた理解度と満足度 (4 段階分布)



- ・ 70%が概ね満足。
- ・ 75%が概ね理解した。
- ・ 10%は全く理解していないと思っている。
- ・ 理解度と満足度は相関性がある。

§ 2. 3 パターンとなった科目ごとの満足度分布



科目 A: 評判の良い状況。

理解度も高い。

科目 B: 平均的

科目 C: 受講学生とのマッチングが悪い。学生の学力と合っていないか、講義技術が学生に対して不適切。

3 パターンを、「満足者の%」が「やや満足者の%」より多い科目を A 型、「不満」と「やや不満」の合計が 50%以上の科目を C 型とすると、1～3 年全体 (1 年のみ) で A 型 22%(30%)、B 型 65%(55%)、C 型 7%(15%)であった。

3 パターンから見られる特徴

- ・ 1 年前期は学生ごとの学力差が大きいため、マッチングの難しい場合がありそうである。
- ・ 語学は一般に満足度が高い。

§ 3. 講義のマッチングを高めるための重要なポイント (講義技術)

話し方・・・声の大きさ、歯切れよさ、言葉を明確に、語尾をしっかりと、間(ま)を十分に。

内容と結論を明快に (断定することが重要)、結論はまとめなおしで確認。

新しい項目へ移る時の導入 (講義の目的や背景など) も大切。

板書・・・字の大きさ、濃さ、単語でなく文に、板書の場所、重ね書きは不満拡大。

パワーポイントを用いる場合には、文字を大きくすること（28p 以上）。

文字や表し方を教科書やプリント、パワーポイント等で一致させること

教科書・・・易しすぎず難しすぎず（易しすぎるよりはやや難しい方がいい）。

理解度確認（学生にとっての試験対策）・・・演習、小テストの実施。

質問の時間や紙に記入（リフレクションペーパー）など[双方向]、Codex の利用。

成績評価や学生との対応における平等さ（えこひいきに注意）。

重要度 ①話し方 ②内容の難易度 ③板書とパワーポイント ④公平性
⑤双方向性、理解度確認

§ 4. 学生から寄せられた主要な意見

よい点： 授業の受けやすい環境； 生徒どうしが聞きやすい雰囲気； 理解が確認される； 実習が多いこと； 出席をとる； 私語に対する注意が行われている； 長い板書は私語が少なく、頭に入りやすい； 紙に質問を書かせるのもよい； ほぼ時間通りに始まり終わる点； 実習ではTAがやさしい； 質問に対し親身になって答えてくれる先生が多いこと

改善してほしいこと： 少人数制の講義を増やしてほしい； 基礎の自由科目と初年次専門科目の連携をよくしてほしい；（高校での）非履修科目のケアをより充実してほしい； 講義内容の難易度を高めてほしい； 全体として授業が難しい； すべての講義で出席をとってほしい； 問題を解かせたり発言させたりするとよい； 練習問題がほしい； マイクを使ってほしい； マイクによって聞き取れないことがある； 学生の私語に対して注意してほしい； 口頭で重要なことを言っても講義のあとで忘れてしまう； 板書の字が小さい； 遅延などで席が後ろになると黒板が読みにくい； 板書の位置を考えて書いてほしい； パワーポイントのみの講義は止めてほしい； パワーポイントをやめて板書にしてほしい； パワーポイントにもう少し解説を加えてほしい； パワーポイントの時は前だけ暗くしてほしい； 説明が一方的で分かりにくい； 講義科目と実習内容の関連性をよくしてほしい； 実習説明は講義室で行ってほしい； 実習説明では、座席が決まっているので聞き取りづらいことがある； 実習班をランダムにしてほしい； 説明の時間や試薬をとるために並ぶ時間を短縮してほしい； 参考文献が古すぎる； TA を増やしてほしい； TA が間違っていることがある； 授業の組み方の工夫をしてほしい； 就活のことを考え、3年後期の受講数を減らしても単位数が足りるようにしてほしい； 急な講義変更、特に補講； 板書の撮影、飲食禁止区域での飲食に注意してほしい； 教室の温度管理をしてほしい

生命科学ゼミナールに関するよい点： 仲間ができた； 少人数教育； 実験； 今の研究がわかる。

（改善してほしいという意見なし）

生命科学概論に関する意見：

よい点： いろいろな研究を知ることが興味深い； 詳しく聴けるのがよい； パワーポイントがいい

改善してほしいこと： やや難しい； 基礎知識を蓄えてから聞きたい； 周りがうるさくて聞き取れない； スクリーンが小さい； 大人数はよくない

アンケートに関して：

アンケートのシステムがやりにくい； アンケート結果を開示してほしい； 「結果が悪い」と言いながら変わらない先生もいる； 生徒の声を吸い上げる場が少ない

§ 5. 学生の授業に臨む態度に関するアンケート結果

(1) 授業外学習時間(1年生)

①学習時間（語学以外）

3 時間以上 1%、2～3 時間 16%、1～2 時間 32%、1 時間未満 37%、ほぼ 0 時間 15%

②1 年生 1 日の学習時間（語学）

2 時間以上 4%、1～2 時間 26%、0.5～1 時間 34%、30 分未満 25%、ほぼ 0 時間 12%

(2) シラバスの利用 時々あるいはよく見る人の割合

1 年生 53% 2 年生 49% 3 年生 65%

以上の結果を踏まえ、FD 委員会からの以下の提案を行った。

- ・各講義に関して、科目 C タイプに関しては、学生とのマッチング改善依頼。
- ・「生命科学概論」に関して来年度に向けた改善依頼。
- ・実習説明に関して、講義室利用の依頼。
- ・パワーポイントを使う場合の注意点伝達。

1年生の全20科目での回答数の総和から得られた理解度と満足度の分布

		そう思う		思わない	
		1	2	3	4
1 理解度	1～20 全科目の%	19.20	40.52	27.08	13.20
6 満足度	全科目の%	28.97	38.96	20.59	11.48

学部教育全体に対する満足度

	満足	概ね満足	まあまあ	やや不満	不満
1 年	17	44	75	22	2
	0.10625	0.275	0.46875	0.1375	0.0125
2 年	2	27	31	12	2
	0.027027	0.3648649	0.4189189	0.1621622	0.027027
3 年	2	13	21	4	4
	0.0454545	0.2954545	0.4772727	0.0909091	0.0909091